

8月になりました。

4月から雑感更新を2度もサボってしまいました。

一度サボった時、特にどうと言う事もなく過ぎたので「まっいいか？」と思いました

自分のしている事が格別どうと言う事もないと知ってしまうと「何が何でも」・・・というやる気や気持ちが薄れてします。むしろ、

「へんな使命感で自分をしぼるのはいけない事だ」位に思っていた所でした。

でも「やっぱり出来る限り、ちゃんとやらなきゃいけないな！」と思い始めた

8月の始まりです。

なぜそんな急に思い始めたかという・・・

在る御家族の生き方「生きざま」を知り、強い感銘を受けたからです。

この地域の御夫婦でした。私たちの事業にとても熱心に楽しげに参加されておられました。

同年代のものから見ると「こんな風に60代からの人生を夫婦ともども過ごせなんていいな」と思える様な御夫婦でした。

そのご家族におとづれた7月の訃報。

その奥様が来館されておっしゃるには・・・

「月曜日に久我山館に行く。講座に出ると言う事がこの1年半の主人の生きる支えになっていたのだから私もそれを支えながら、同じ時間を過ごそうと一緒に来ていたのよ」と

御主人が生き続けるという強い気持ちを心に秘めて、使命感をもってご参加頂いていたこと

またそれを大きな不安を抱えながらも、それにまさる愛情を持って奥様も来て下さっていたこと

そんな日々を過ごされていたなど全く知らずに「お疲れ様でした」と

普通にお見送りした日々私には何気ない日常でした。

がその日々がそのお二人にとって貴重な時間だった事を知ることになりました。

さらに、奥様が目に涙を浮かべつつも、微笑みながら言葉をつづけてくださり

「そういう時間を過ごさせてくれて、本当にありがたかった ありがとうね」

と言って下さったのです！！

そんな経緯を知った事で、それまでの「まっいいか？どうでも・・・」と言う

少し投げやりな気持ちはずっと消え「何がなんでも続けるぞ」という

強い心をまた持てる事ができました。

私たちのやっている事なんて本当にたいした事ではありません。

なんの為に毎日バタバタしているかも正直わからなくなって、「大変大変！」と

文句ばかりが出てきたりしていることもあります。

それでもだれかの想いやどなたかの人生に少しはお役にたっているんだと思えた今日

また新たな気持ちで出発できそうな7月の終わりでした。

「また来るわね」と言って下さった貴方のために 私たちはまた歩けます

ありがとうございました。8月は新たな出発の日いたします。

お会いできた事を誇りに・・・心からご冥福をお祈りいたします。 プロップK一同